

佐伯総合建設(株) 安全協力会**第3回 「職長・安全衛生責任者教育」を開催しました**

日 時： 1月24日(金) / 1月31日(金) (2日間)

9時30分～17時30分

場 所： 大口町健康文化センター ほほえみプラザ
(4階研修センター ほほえみホール)

参加者： 各協力会社 37名

講師： (株)安全サービスセンター 所長 辻 宏夫 氏
(佐伯総合建設株)：外部講師)

佐伯総合建設株安全協力会では、建設現場で作業する一人ひとりが安全意識・安全知識を高め、「災害ゼロ」で建物を完成させ、お客様に気持ち良く安心してお引渡しできるよう、各協力会社の社員や作業者を対象に安全衛生教育を実施しております。

職長・安全衛生責任者教育は、安全衛生法第60条、規則第40条に規定される法律で定められた特別安全教育です。一般的には作業現場で指揮監督する立場の作業者(職長)や、元請等との連絡調整等を図る立場の作業者(安全衛生責任者)に対して教育を実施しますが、佐伯総合建設株安全協力会は、建設現場に入場する全ての作業従事者を対象に、安全衛生に関わる基礎知識やリスクに対する予測及び低減対策手法(リスクアセスメント、KY)を習得し、全員で建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)を運用し、安全・安心な職場環境を造り上げ、より良く(品質)、より価値のある(コスト)、より早く(納期)、より安心(安全)な建物づくりを目指します。



講師 辻先生



講習の様子

～受講者の感想より抜粋～

- ・今まで僕はヘルメットをかぶる、安全帯をするという事はとても嫌でした。ヘルメットは夏暑いし、安全帯は邪魔です。ですがこの講習を通して安全の大切さを再認識しました。安全を忘れない事を十分に意識したいと思います。
- ・辻先生のお話しは、おもしろくてすぐ時間がたってしまいました。先生の話を聞いて、安全は人からやらされるのではなく、自分で考えて行動するものと特に感じました。安全も仕事の中の一つだという事がよくわかりました。
- ・安全とは、他人から強要される事ではなく、自分自身の努力によるものだと思います。
- ・安全作業に対して前向きになりました。明日からの仕事に対して役に立ちます。

協力会社の皆様ご参加ありがとうございました。

